

## 横須賀市スポーツ大賞

加藤 志希（かとう しき）選手      加藤 志野（かとう しの）選手



### 【受賞概要】

2025年11月開催の「東京2025デフリンピック」において、バスケットボール女子日本代表として出場した。チーム最年少ながら主力として活躍し、バスケットボール競技ではデフリンピック史上初となる金メダルを獲得した。

### 【経歴】

両選手とも生まれつき耳が聞こえにくく、乳幼児期から横須賀市立ろう学校に通う。補聴器を装着すればある程度の会話が可能で、横須賀市立の小中学校、横須賀大津高校に通い、現在は関東学院大学2年に在学中。バスケットボール一家で育ち、小学1年生からバスケットボールを始め、小中高校、大学では健聴者と共にプレーしている。

姉の志希選手は小中高校時代キャプテンを務め、高校時代は県ベスト8の戦績を残す。デフバスケットボールを本格的に始めたのは高校2年時で、以来デフリンピック日本代表を目指して活動する。2024年夏に前十字靭帯損傷という大けがを負うが、日本代表強化選手としての活動を続け、同年開催のDIBFアジア太平洋デフバスケットボール選手権大会で優勝する。手術、リハビリを経て2025年夏に復帰し、デフリンピックではシックスマン（Sixth Man＝スタートメンバーに次ぐ6番手の選手）として出場し、試合の流れを引き寄せる3ポイントシュートを高確率で決め優勝に貢献した。

妹の志野選手は高校時代チームとして県ベスト8の戦績を残す一方、個人としては県優秀選手賞を受賞する。デフバスケットボールを本格的に始めたのは高校2年時で、以来デフリンピック日本代表強化選手となりチームの中心選手としての役割を担う。2024年DIBFアジア太平洋デフバスケットボール選手権大会に優勝し、ベスト5に選出される。デフリンピックではすべての試合にスターティングメンバーとして出場する。オフェンスではオールラウンドの力を発揮し、献身的なディフェンスとリバウンドで優勝に貢献した。

## 大矢 華乃（おおや はなの）選手

### 【受賞概要】

2025年10月に バーレーン・マナマにて開催されたアジア・オリンピック評議会が主催する「第3回アジアユースゲームズ」のレスリング競技に日本代表として出場し、第3位を獲得した。

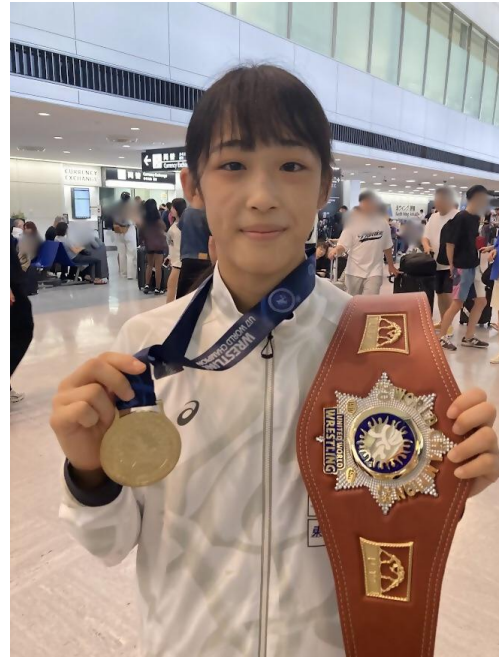
### 【経 歴】

神明中学校出身の大矢選手は、小学校2年生の夏にオリンピックをテレビで観戦したことで、レスリングに興味を持ち、市民スポーツ教室でレスリングを始めた。

その後、横須賀ジュニアレスリングクラブに所属するとともに、市スポーツ協会が主催する横須賀ジュニアトップアスリートアカデミーにも2年間指定された。現在、都内のレスリング強豪高校に在籍。

2024年6月ヨルダン・アンマンで開催されたU17 アジア選手権で第3位を獲得。

2025年4月JOC杯ジュニアクイーンズカップ選手権で優勝。7月にギリシャ・アテネで開催されたU17世界選手権に日本代表として出場し、日本女子で唯一優勝を果たした。



### 横須賀市スポーツ大賞とは

本市に在住し、若しくは在勤・在学し、又は深いゆかりのある者で、スポーツの向上発展に寄与し、オリンピック等の国際大会において顕著な成績を収めた個人又は団体に対する表彰